

令和6年度

小松島小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎・基本の確実な定着と自ら考える力の育成を図る。
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を図る。
- 一人一台のタブレットやICT環境を効果的に活用し学力向上を図る。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長 後藤 由美 教頭 古田 哲也
教諭 西崎 仁美 (算数主任)		教諭 間 幸子(教務主任) 教諭 楠本 奈々(研修主任) 教諭 松本 亜由利(国語主任) 養護教諭 小泉 加余子

校長

後藤 由美

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【取組状況の把握について】

校内研修による共通理解等様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや計算などの基礎的・基本的な知識・技能は少しずつ伸びてきている。 ●読書が好きな児童も多いが、文章を読むことに抵抗感がある児童も見られる。	・基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、国語・算数の「単元末テスト」で80点以上とることができる。 ・いろいろな文章に触れて、語彙力を高め、文章を正確に読んだり正しい言葉で書いたりすることができる。	・朝のジャンプアップタイムで視写、音読、漢字、計算などの反復練習及び小テストでの振り返りを行い、基礎的・基本的な内容の習得を図る。 ・読書活動を推進し、あわっこタイムズデーで新聞を活用するなどして文字に親しみ、語彙を増やすことができるようにする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基本的な話型を見たり事前に原稿を書いたりして見通しをもつと、自分の考えや思いを発表することができる。 ●自分の思いや考えを筋道立てて相手にわかりやすく伝えることに課題がある。	・自分の思いや考えを筋道立てて相手にわかりやすく伝えることができる。	・学習やグループ学習、討論などを授業に取り入れる。 ・「意見のもち方・言い方(手引き)」を作成し、ペア学習やグループ学習のときに使うことができるようにする。 ・授業の終末に振り返りを位置付けて、自分の考えや学んだことを書いたり発表したりできるようにする。 ・各教科において、単元の終わりに、学んだことを活用して表現する課題を設定し、取り組むことができるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○多くの児童が落ち着いて学習に取り組む、学習や生活のきまりを守って学校生活を送ることができている。 ○異学年での活動や行事を通して、認め合う機会が増え、自己肯定感が高まりつつある。 ●自ら学習課題を見つけたり、計画を立てたりすることに課題がある。 ●十分できているのに、自信がなく、周りを気にしてしまう。	・自ら学習課題を見つけ、解決できるように計画を立て、実践することができる。 ・学校生活をよりよくしようと主体的に考え、行動することができる。	・学習中での課題設定の場面を設ける。 ・適宜、振り返りを行う時間を確保し、自らの学びを確かめながら学習を進めることができるようにする。 ・委員会活動や異学年班での活動を通して、児童が活躍できる場面を作り、互いに認め合う機会を増やす。 ・メンター制度を利用し、教員間で授業改善の情報交換をする。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

